

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 720104	ファイリングシステム維持管理事業				主管課名	総務課				
	この事務事業 の位置	政策	市民と行政の協働による自立した自治体経営				課長名	宇佐美勝也				
		施策	市民サービスを高める行政運営の推進									
	基本事業	行政情報の提供と共有化										
(1)事業の概要												
行政文書の検索性を向上させるため文書目録を作成している。また、分類の仕方、保存の仕方や職場環境の整理などに関する研修や実地指導を行う。電子文書管理システムは、紙及び電子データを総合的に管理し、保存場所の省スペースを図るとともに、行政文書の検索性をさらに向上させる。電子決裁システムは、行政文書の收受、回覧、決裁等をシステム化することにより迅速な意思決定に貢献し、時間の節約等に繋がる。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名称	単位					
						行政文書数	ホルダ					
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		文書の廃棄 表等の作成 文書の引継ぎ ファイリングシステム推進委員会 実地指導 維持管理確認指導 ファイル基準										
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
職員 行政文書						名称	単位					
						職員数	人					
						行政文書数	ホルダ					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
対象文書を正確に素早く取り出す。 すべての文書がフォルダ化されている。 ファイリングシステムの維持管理がされている。						名称	単位					
						平均検索時間	秒					
						フォルダ化率	%					
						維持管理点検の達成率	%					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
行政情報を適正に管理し、事務の効率化を図るとともに、積極的に情報を公表・公開し、市政に関心を深めてもらい、市民に街づくりに参加してもらう。						名称	単位					
						広報紙等から行政情報を得ていると答えた人の割合	%					
						ホームページのアクセス件数	件					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		ホルダ	259,000	259,500	260,000	260,000	260,000	260,000				
(6)の対象指標		人	489	494	493	495	486	478				
		ホルダ	259,000	259,500	260,000	260,000	260,000	260,000				
(7)の成果指標		秒	30	30	30	30	30	30				
		%	100	100	100	100	100	100				
		%	96.53	97	97.3	97.7	98	98.3				
(8)の結果の成果指標		%	95	95	96	97	97	97				
		件	431,578	481,395	482,000	483,000	484,000	485,000				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	1,225	1,173	1,092	1,058	1,066	1,066				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,225	1,173	1,092	1,058	1,066	1,066				
人件費B		千円	1,476	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2				
正職員以外の人件費		千円		100	100	100	100	100				
その他費用C		千円		5	10	10	10	10				
トータルコストA+B+C		千円	2,701	2,781	2,705	2,671	2,679	2,679				
単位あたりコスト		千円/人	6	6	5	5	6	6				
(トータルコスト)/(6)の対象指標		千円/ホルダ	0	0	0	0	0	0				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	720104	ファイリングシステム維持管理事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成12年度 から			外部講師に比べ、内部委員では職員間ということもあり、一定の緊張感を保つことが困難であり、厳格な指導を行うという面では危惧される部分がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
情報公開条例の施行に先駆け、行政文書の適切な管理が必要となったため開始した。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		変化した内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
					この事務を行う根拠又は理由	情報公開法	
						情報公開制度の施行に先駆け、行政文書の適切な管理が必要である	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
			できない	→			
				拡大			
			縮小				
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容			
		できない	→				
			追加				
			拡充				
			絞込み				
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容			
		多少影響がある	→				
		影響はない	→				
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	職員にファイリング意識をさらに浸透させることにより、行政文書の検索時間の短縮が図れる。		
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある → 内容		
		ない	→			類似事業との再編の可能性	ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
		ない	→				
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
		ない	→				
	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
		ない	→				
			現状で適正				
			検討が必要				
			受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	IT革命に対応した地方自治体の情報化施策を総合的に推進するため、行政文書の起案から廃棄までを電子文書で一貫して管理する電子決裁・電子文書管理システムの導入により、事務の簡素・効率化を進める。					